

2021年1月12日

滋賀県知事 三日月 大造 様

日本共産党滋賀県議会議員団 節木 三千代
杉本 敏隆
松本 利寛
黄野瀬 明子

新型コロナウイルス感染症に対する緊急要望

新型コロナウイルスの新規感染者の増加が続き、県内の病床の使用率が9割を超えて、逼迫している。医療機関、介護事業所のクラスターの発生が相次ぎ、「医療崩壊」「介護崩壊」が引き起こされかねない重大な事態になっている。

医療・福祉施設でのクラスター発生を防止する検査は、重症者を減らし、医療への負担を軽減するうえで決定的に重要である。PCR検査を増やして感染を抑える方針に転換すべきである。

また、「昨年12月後半より、客足がピタッと止まった」「このままではこわくて店が開けない」など、飲食業をはじめ多くの事業者で多大な影響がすでに出ており、直接の支援が直ちに必要である。よって以下の点を強く求める。

【要望項目】

1. 厚生労働省の事務連絡通り、高齢者施設等の入所者又は介護従事者で発熱等の症状を呈するものについては、必ず検査を実施すること。陽性者が判明した場合、濃厚接触者に限定せず、職員、入所者や利用者全員にすみやかにPCR検査を実施すること。
2. クラスター発生の危険性の高い医療機関、介護・福祉施設については、その利用者、職員に対して、定期的にPCR検査（社会的検査）を実施すること。特に、医療機関、介護事業所におけるクラスターの発生が顕著である大津市、草津市、甲賀市においては、早急に社会的検査を実施されたい。
3. 「検査・保護・追跡」の機能がしっかり果せるよう全力をあげること。人員体制を強化し、保健所への支援、衛生科学センターの機能整備を早急に図ること。
4. 感染拡大により影響を受けている事業者の実態を把握し、ただちに直接支援をおこなうこと。